

令和 9 年度
兵庫県予算に対する提案・要望
(港湾局関係分)



神戸市

提案・要望項目

| 重点項目

1. 神戸空港の国際化を契機とした取組みの推進

重点項目

兵庫県予算に対する提案・要望
神戸 戸 市

1. 神戸空港の国際化を契機とした取組みの推進

»土木部、教育委員会、産業労働部

1) 神戸空港の航空需要拡大に向けた取組みの推進

○ 新たな市場開拓

- ・神戸空港が関西全体の航空需要の拡大に寄与するため、県内をはじめ神戸以西の自治体や企業への観光やビジネス需要の喚起を積極的に行い、神戸空港を活用した交流人口の拡大に資する新たな市場開拓を市と連携して進めること

○ 神戸空港の国際化を契機とした取組み

- ・グローバルで活躍する人材の育成に向け、県下の学生等が海外の文化やスポーツ等と接する機会を確保するため、修学旅行をはじめとする海外教育旅行における神戸空港の活用を市と連携して進めるとともに、費用負担の軽減となる支援制度を拡充すること

○ 広域的な交通ネットワーク網の拡充

- ・県内をはじめとした主要都市との直通リムジンバスなどによる交通ネットワーク網の拡充に向けた支援制度を創設すること

2) 環境監視・地域振興に関する取組みの推進

○ 環境監視・地域振興に関する取組み

- ・住民の生活環境を守るため、環境監視結果の効果的な広報や相談対応、飛行経路の運用状況を踏まえた関係者会議の開催、地元意見への対応など、市や関係機関と連携し、継続して環境監視に取り組むこと
- ・新飛行経路の導入に伴う神戸空港の容量拡張・国際化が、地域の振興や経済発展に繋がるよう、空港とのアクセス強化や観光需要の拡大などに継続して取り組むこと

3) 神戸空港の機能強化に対する支援

○ 国際便受入拡大に向けたC I Qに関する国への働きかけ

- ・神戸空港における国際チャーター便の安定した運航実績や航空会社からの需要を踏まえ、早朝・夜間を含めた国際チャーター便の受入拡大や2030年4月を目標とする国際定期便の就航に向け、C I Q（税関・出入国管理・検疫）の人員体制・事業費の確保、各法令（関税法・出入国管理及び難民認定法・検疫法）による指定及び国際プライベートジェットの受入拡大に向けた制度のさらなる緩和について、関係機関への積極的な働きかけを行うこと
- ・旅客のスムーズな税関・出入国・検疫手続のため、2028年度に予定されている電子渡航認証制度（J E S T A）の導入に加え、先進的な機器・システム（共同キオスク、税関検査場電子申告ゲート、出入国審査場顔認証ゲート・自動化ゲートなど）を積極的に導入するよう、関係機関へ積極的な働きかけを行うこと

4) 神戸空港島の利活用に向けた支援

○ 兵庫県・関西経済のさらなる活性化に向けた産業集積に対する支援

- ・成長産業の集積によって地域経済がさらに活性化するよう、空モビリティ分野（航空機）における地域産業クラスター形成に向けた取組みを積極的に進めるとともに、神戸空港島への投資促進や人材育成に必要な事業費を確保すること

1)	港湾局 空港戦略部 空港調整課課長（振興担当） 平田 晃士	078-595-6272
2)	港湾局 空港戦略部 空港調整課長 吉森 将司	078-595-6272
3)	港湾局 空港戦略部 空港調整課課長（振興担当） 平田 晃士	078-595-6272
4)	港湾局 空港戦略部 誘致戦略課長 権代 慶一	078-595-9918
	港湾局 空港戦略部 誘致戦略課課長（空港島整備担当） 濱端 康成	078-595-9918